

中期成長戦略の方向性について

2016, May 10th

ヒロセ電機株式会社

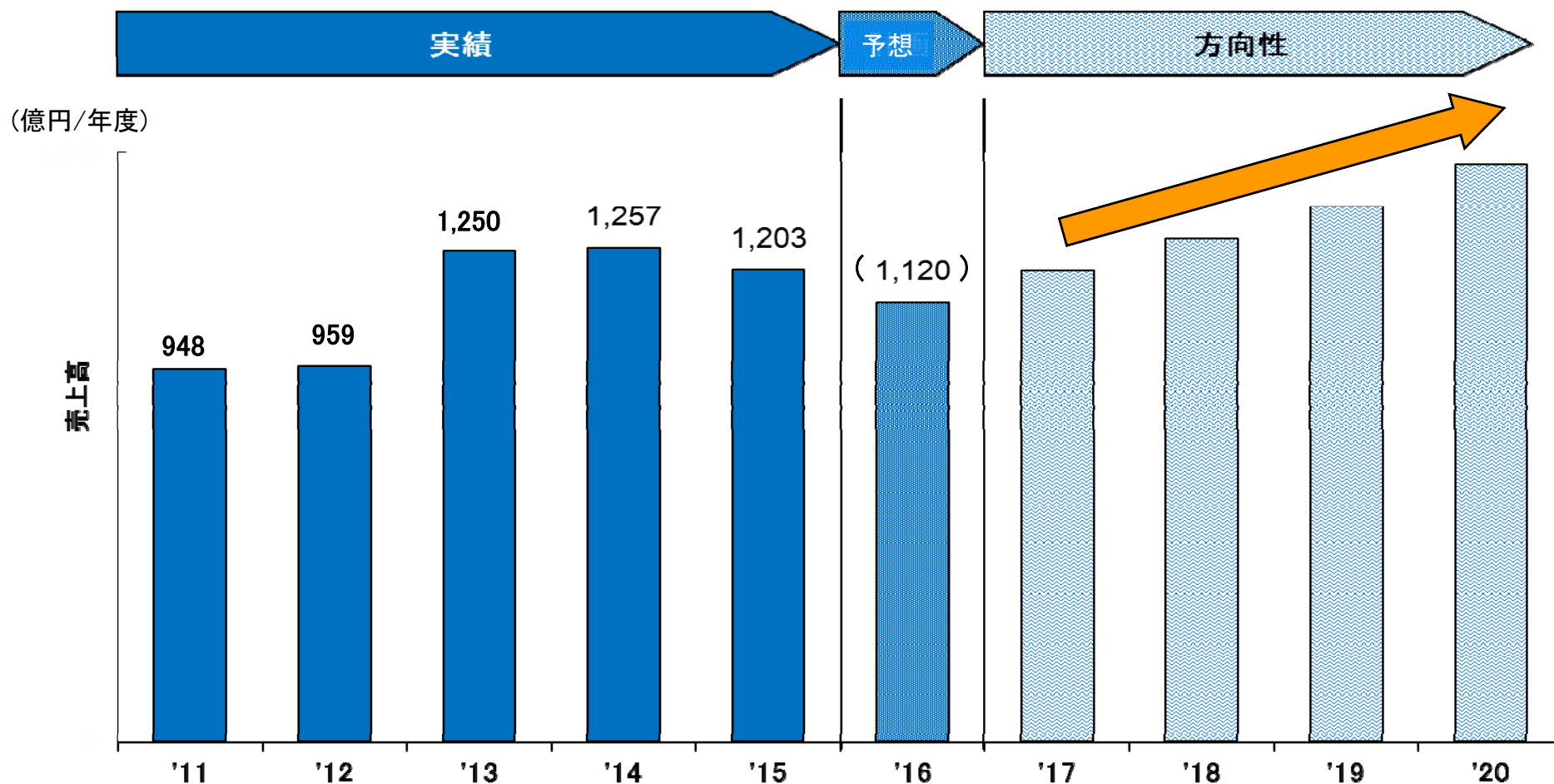
社長 石井 和徳

注意事項

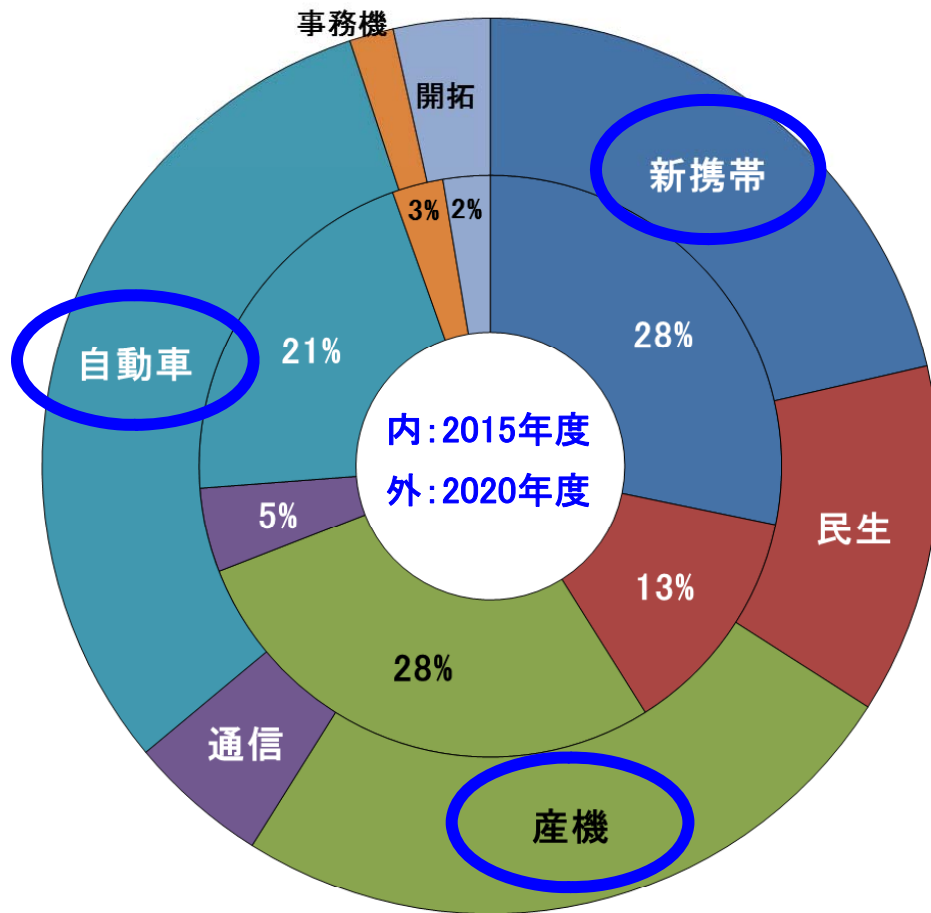
本資料には、ヒロセ電機の現時点における予測に基づく記述が含まれています。

これら将来に関する記述は、既知または未知のリスク及び不確実性その他の要因が内在しており、当社における実際の業績と異なる恐れがあります。ご承知おき下さい。

高収益経営を維持し中期的に売上成長



--- → 2016年マイナス成長予想をボトムに価値ある継続成長へ



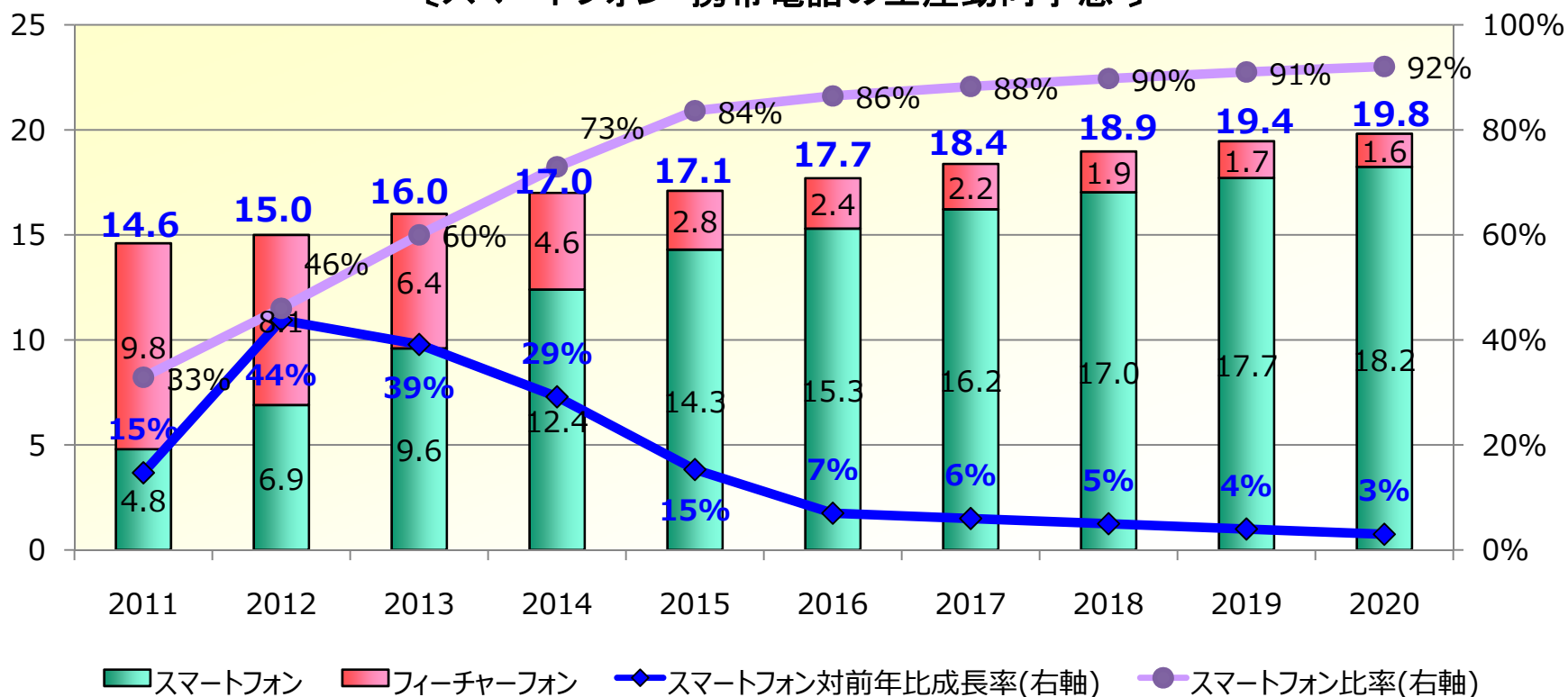
- スマホの成長鈍化と新情報端末の拡充 (→Page 5,6で補足)
- 次なる柱への仕掛けを加速中
- 「スマホ・コンシューマ」と「自動車/産機・インフラ」の両輪での成長計画 (→Page 7,8で補足)

--- → 中期マネジメントの加速で継続成長

■2ケタ成長を続けてきたスマートフォンは2016年以降一ケタ成長に鈍化するも、数千万台/年の増加が引続き見込まれる。

単位:億台/年

〔スマートフォン・携帯電話の生産動向予想〕



出所:HRS推定

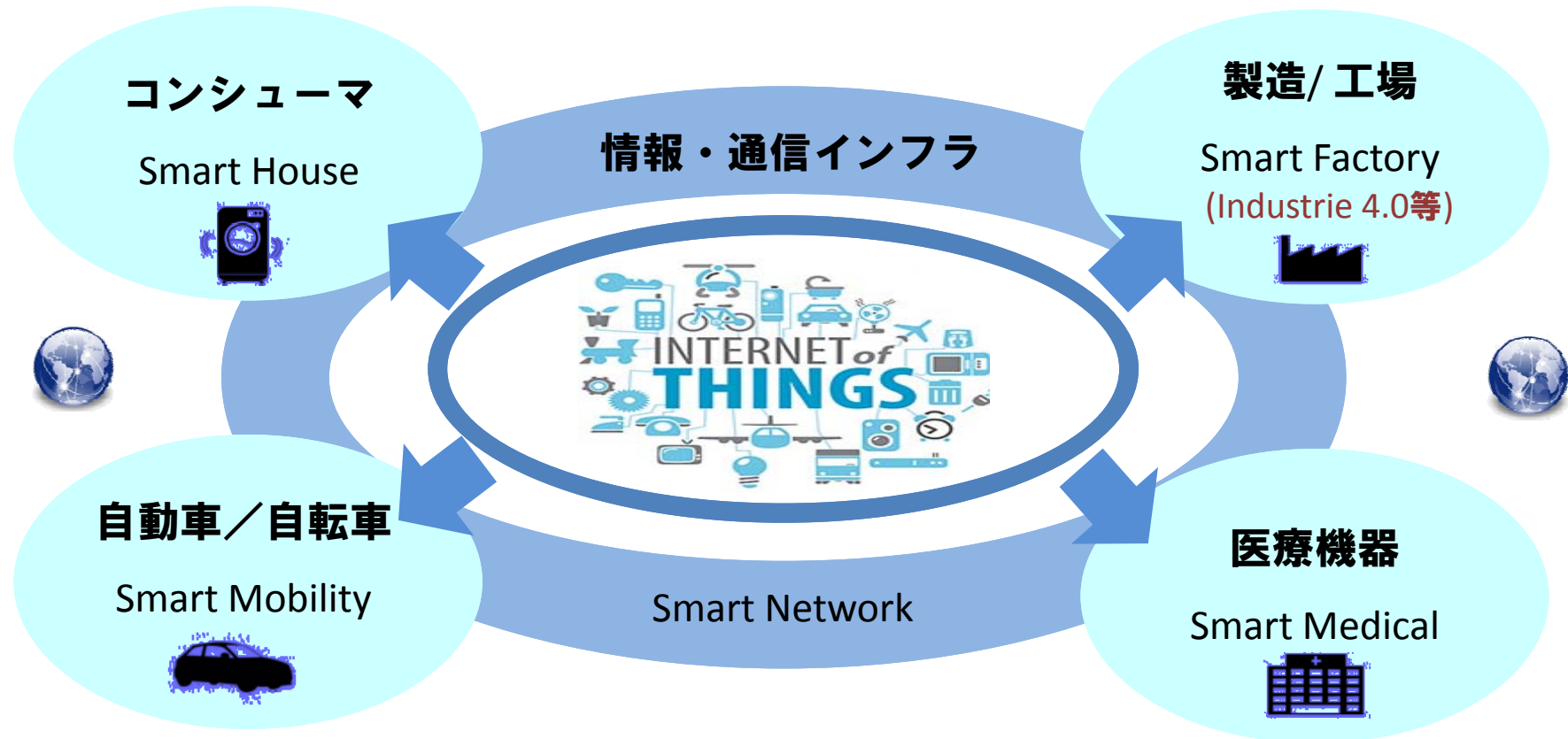
---> スマホ市場は緩やかな継続成長

■ スマホ、タブレット等のホスト端末を中心に、ウェアラブル端末各種や、IoTモジュールによって通信機能を持った様々なモノ＝端末がネットにつながる、本格的なクラウドロニクス社会が到来



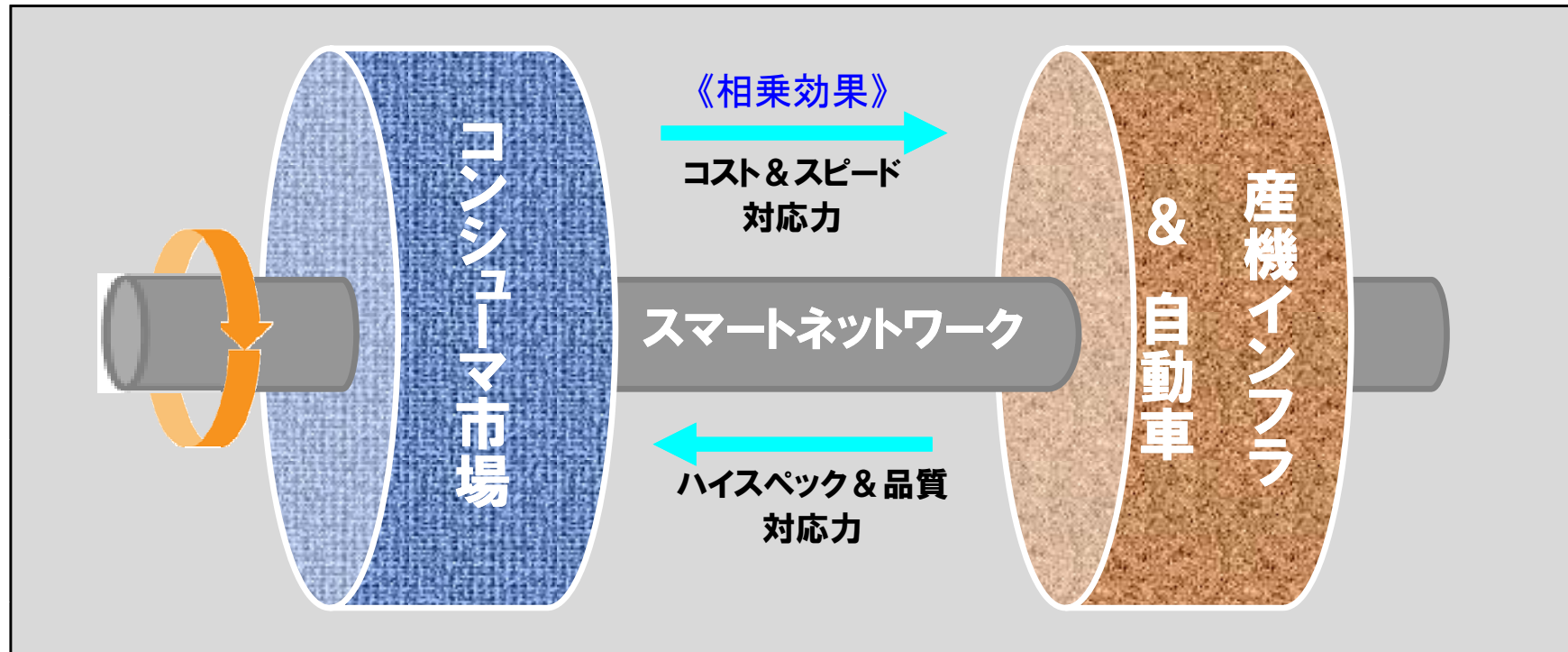
→ ネットに繋がる情報端末はますます多様化し、コネクタへの要求は更に小型・省スペース化へ
(スマホ市場用製品の用途拡大)

■ IoT を応用した新しい製品、サービス、システムは、様々な分野へ波及していく

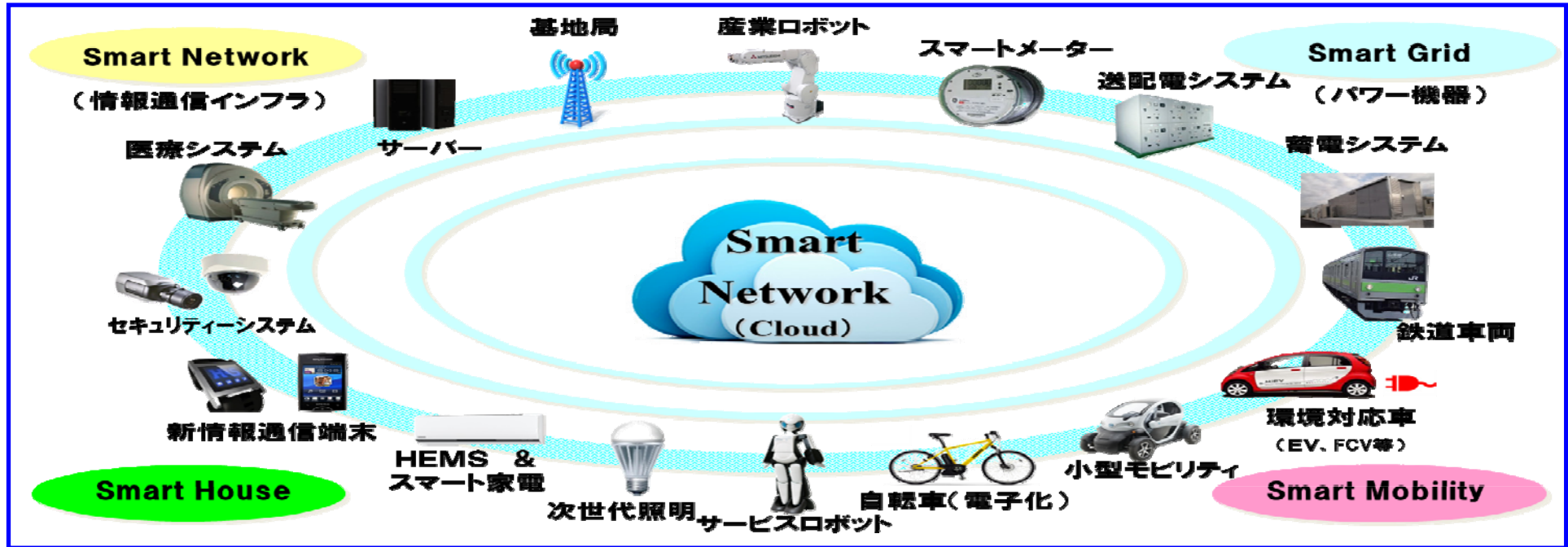


--- → 色々な分野で新たなコネクタ・ニーズが生まれる

■ 基本的な方向性



---> [コンシューマ] & [自動車、産機インフラ] の両輪で継続成長！



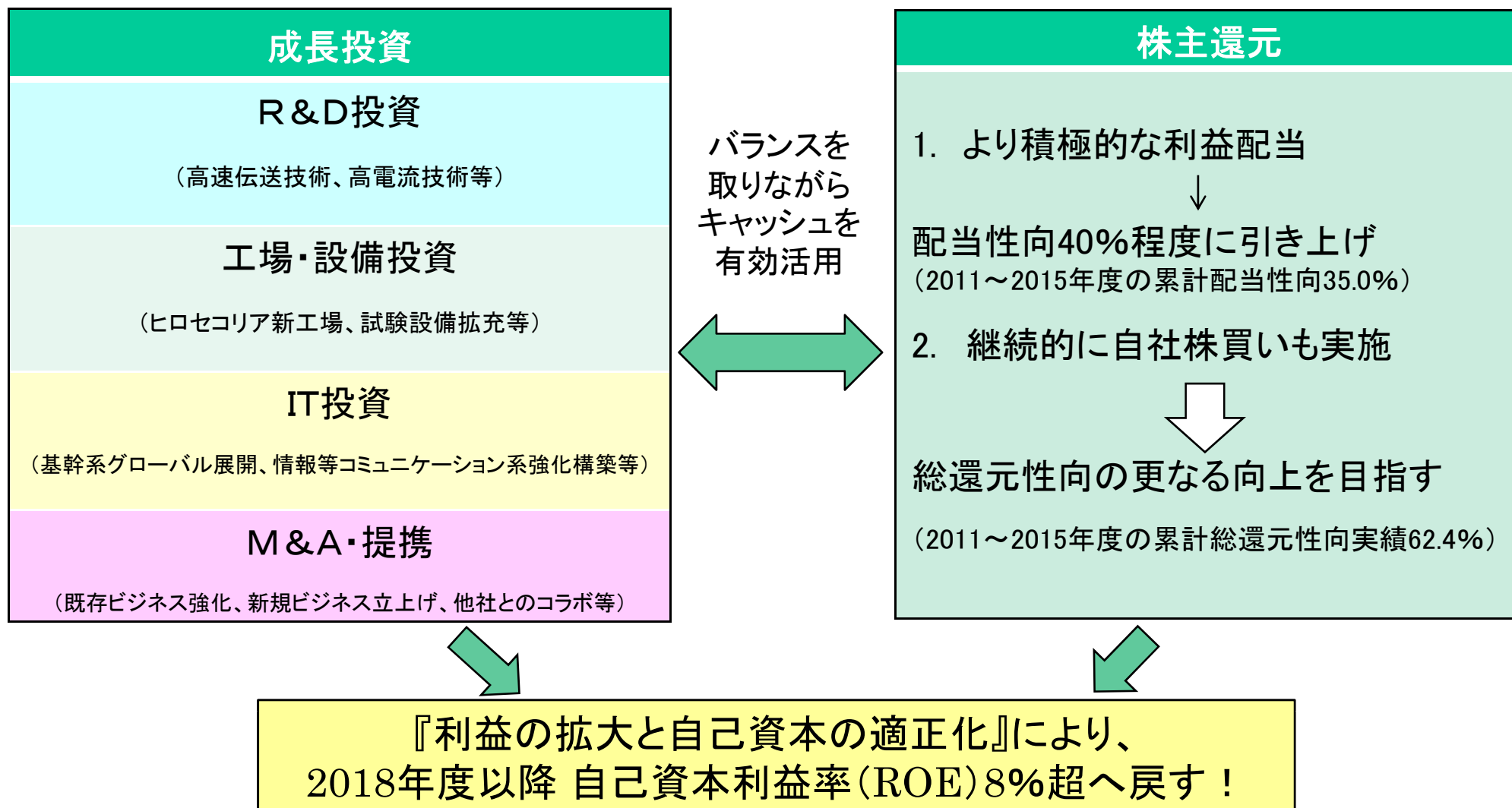
[キーワード]: 「IoT(全てが繋がる世界)」「クラウドロニクス」「ECO(省電力)」

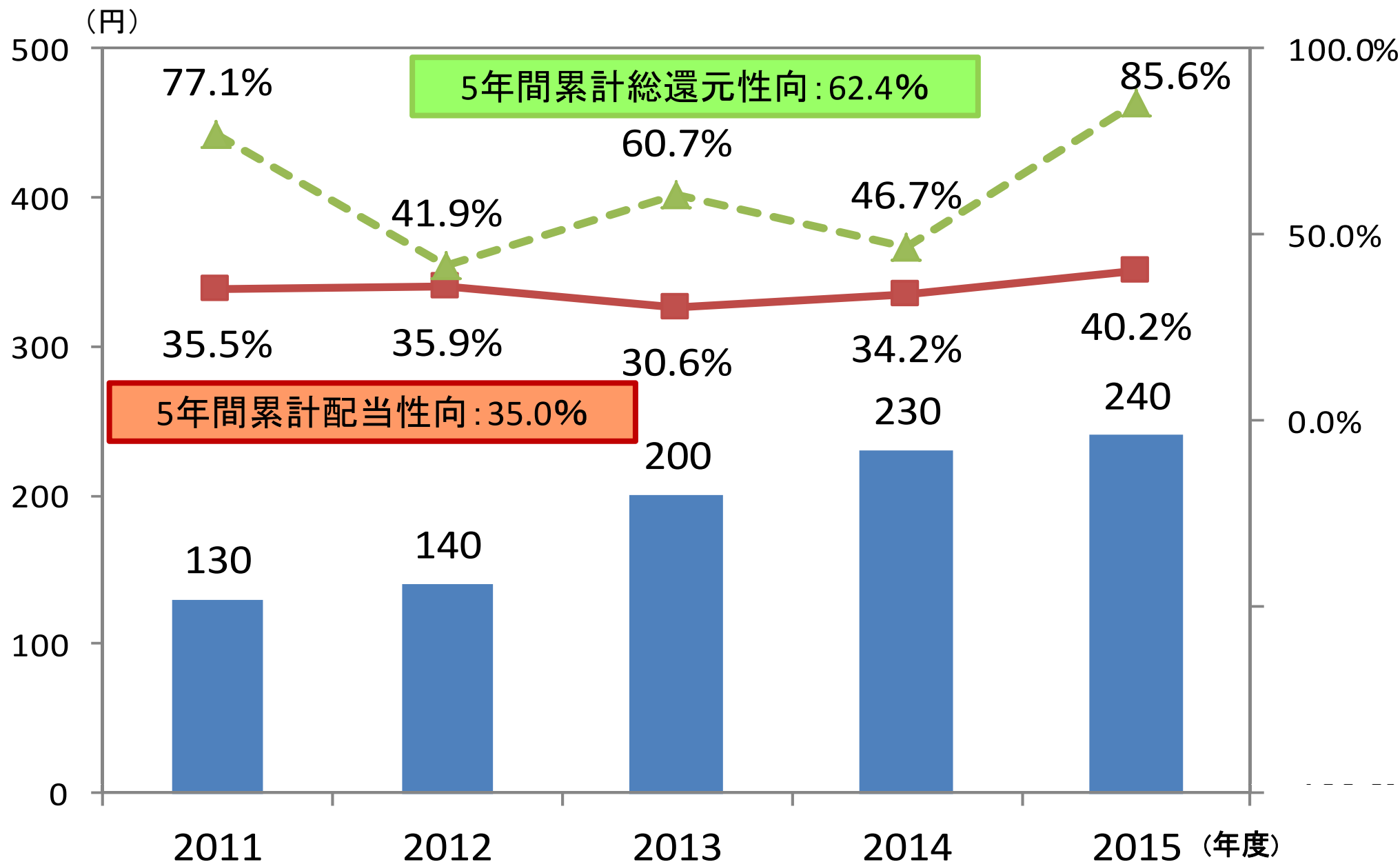
[キーテクノロジー]: 「高速」、「高周波」、「ハイパワー」、「小型化」への取組み強化

戦略投資

技術開発	工場・設備	ITインフラ
◆高速、高周波伝送技術	◆国内外工場の増強	◆各種基幹システムの強化
◆高電流、耐環境技術	◆超精密加工設備	◆コミュニケーションシステムの充実
◆金型加工技術、めっき技術	◆自動車/産機向け試験・評価設備	◆意思決定支援システムの整備

キャッシュ活用は、今後の中期的な成長戦略に基づく投資を優先させた上で、株主還元の更なる充実を目指していきます





<<< 新年度:2016(H28)年 >>>

『G-WING』の達成へ！

～「ヒロセの来たる雄飛と躍動」
への起点となる1年とする ～